



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

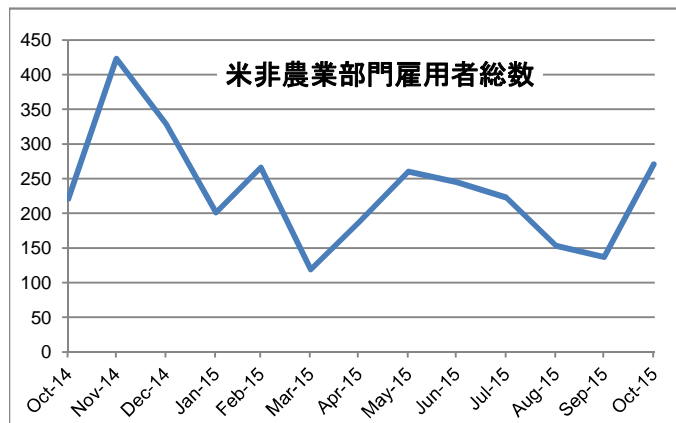
			10月30日	11月3日	11月4日	11月5日	11月6日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3,8550	3,7690	3,7990	3,7800	3,7680	-0,0120
	BRL/JPY	Spot	31,30	32,11	31,99	32,19	32,68	+0,49
	EUR/USD	Spot	1,0994	1,0964	1,0858	1,0885	1,0743	-0,0142
	USD/JPY	Spot	120,68	121,03	121,54	121,68	123,21	+1,53
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14,80	14,77	14,77	14,79	14,79	+0,0006
	Future	1Year(p.a.)	15,40	15,30	15,27	15,29	15,32	+0,0252
	On-shore	6MTH(p.a.)	3,052	2,770	2,873	3,025	3,096	+0,071
	USD	1Year(p.a.)	3,695	3,370	3,636	3,709	3,830	+0,121
株式	Bovespa指数		45.868,82	48.053,67	47.710,10	48.046,76	46.918,52	-1.128,24
CDS	CDS Brazil 5y		438,50	401,55	391,58	398,16	405,06	+6,90
商品	CRB指数		195,607	197,557	194,134	192,435	191,034	-1,402

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は3.8490で寄り付いた。
- 週初めはブラジルで休場となった2日にユーロ圏の10月製造業の拡大ペースが当初の見積もりに反して加速したほか、米マーケット米製造業PMIも予想を超えた。レアルは寄り付き後、週間安値となる3.8560を付けるも、前日のリスク資産の買いの動きにつられて買いに転じたほか、ブラジルの大手企業の一部の事業の買収案件が週末に報道されたことも好材料となり、レアルは対ドルで他のエマージング通貨よりも大きく反発、週間高値となる3.7420を付けた。
- 週央には米ADP民間雇用者数が予想を上回る結果となったほか、イエレン米FRB議長が議会証言で12月利上げの「現実的な可能性」はあると発言したことを受けて利上げ観測が強まるとドルは対主要通貨で上昇、レアルは反落した。
- 週末にかけては米失業保険新規申請者数が予想より上昇したことからドルがやや小緩むと、レアルはじりじりと買い戻される展開となった。しかし6日に発表された10月の米雇用統計において、非農業部門雇用者数が前月比27万1000人増と、市場予想を大きく上回り、今年最大の伸びとなったことから米利上げ観測が強まった。その結果ドルは大きく上昇、レアルは一時3.8400まで売り戻されたが、引けにかけて下落分を全て回復し、結局3.7680で越週した。

3. 今週のチャート&ハイライト



出所: Bloomberg

米非農業部門雇用者数、今年最大の伸び

10月の非農業部門雇用者数は27万1000人増加し、市場予想を大きく上回り、今年最大の伸びとなった。強い雇用統計を受けて、年内の利上げ観測が強まり、ドルは対主要通貨で大きく上昇した。11月の雇用統計も強い数字となれば12月の利上げはかなり可能性高い。米金利先物市場動向は来月のFOMCで政策金利が引き上げられる確率が56%から70%に急上昇したことを示している。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は、著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista

4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.75－4.00

今週は国内ではブラジル企業の一部事業が買収されるとの報道を受けて政治的不安定が長引いてもブラジルには魅力的な投資機会があると市場で好感された。しかし予想を上回る米雇用統計やイエレン米FRB議長の発言を受けて年内の米利上げ観測が同時に強まり、エマージング通貨は対ドルで下落する展開となった。レアルは買収案件が好材料となったほか、大口の資金流入と思しき動きが見られ、レアルは他のエマージング通貨の動きに反して堅調に推移する週となった。今週発表された鉱工業生産等を含む経済指標は予想を下回るばかりでブラジルの状況は引き続き厳しく、レアル高傾向は長くは続かないと思われ、レアルは再び3.80台で推移する可能性が高い。来週は国内では特に小売売上高の数字が注目される。海外では米新規失業保険申請件数やミシガン大学消費者マインド等が注目されるだろう。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FGVインフレ率IGP-DI(前月比)	1.62%	1.76%	1.42%
ブラジル	FGVインフレ率IGP-DI(前年比)	10.40%	10.58%	9.31%
ブラジル	IBGEインフレ率IPCA(前月比)	0.80%	0.82%	0.54%
ブラジル	IBGEインフレ率IPCA(前年比)	9.91%	9.93%	9.49%
ブラジル	自動車生産台数	--	205020	174611
ブラジル	自動車販売台数	--	192146	200077
米	非農業部門雇用者数変化	185k	271k	137k
米	失業率	5.0%	5.0%	5.1%

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	11/9	貿易収支(週次)	nov/08	--	\$102m
ブラジル	11/10	FIPE CPI-週次	nov/07	0.87%	0.88%
米	11/10	卸売在庫(前月比)	Sep	0.0%	0.1%
ブラジル	11/10	IGP-M Inflation 1st Preview	Nov	1.16%	1.64%
米	11/11	MBA住宅ローン申請指数	nov/06	--	-0.8%
米	11/12	新規失業保険申請件数	nov/07	270k	276k
ブラジル	11/12	小売売上高(前月比)	Sep	-1.0%	-0.9%
ブラジル	11/12	小売売上高(前年比)	Sep	-7.4%	-6.9%
ブラジル	11/12	広義小売売上高(前月比)	Sep	-2.5%	-2.0%
ブラジル	11/12	広義小売売上高(前年比)	Sep	-12.5%	-9.6%
ブラジル	11/13	経済活動(前月比)	Sep	-0.55%	-0.76%
ブラジル	11/13	経済活動(前年比)	Sep	-6.05%	-4.47%
米	11/13	ミシガン大学消費者マインド	Nov P	91.5	90.0
米	11/13	小売売上高速報(前月比)	Oct	0.3%	0.1%
米	11/13	PPI 最終需要(前月比)	Oct	0.2%	-0.5%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は、著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。